

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第4区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2000-322870(P2000-322870A)
【公開日】平成12年11月24日(2000.11.24)
【出願番号】特願平11-127253
【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 25/04

G 1 1 B 33/12

【F I】

G 1 1 B 25/04 1 0 1 K

G 1 1 B 33/12 3 1 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月13日(2004.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報媒体である複数のディスクと、前記ディスクを回転させるスピンドルモータと、前記ディスクに情報を記録再生するヘッドと、前記ヘッドを支持するキャリッジと、を備えた磁気ディスク装置において、

前記ディスクの回転によって引き起こされるディスク周方向の空気流れを円滑にするシュラウドを前記ディスクの外周を取り巻くように設け、

前記シュラウドはその内周面に櫛歯が設立され、前記櫛歯が前記ディスクの最外周から内側に入り込むように前記ディスク間に間挿される

ことを特徴とする磁気ディスク装置。

【請求項2】

情報媒体である複数のディスクと、前記ディスクを回転させるスピンドルモータと、前記ディスクに情報を記録再生するヘッドと、前記ヘッドを支持するキャリッジと、を備えた磁気ディスク装置において、

前記ディスクの回転によって引き起こされるディスク周方向の空気流れを円滑にするシュラウドを前記ディスクの外周を取り巻くように設け、

前記シュラウドは前記キャリッジの移動動作に対応する部分に開口部が設けられ、前記開口部を覆うシュラウド補助部を前記ディスクの円周方向に沿うように形成して前記シュラウドに取り付け、

前記シュラウド補助部は、前記キャリッジが挿入され移動動作できる隙間を有する櫛歯形状である

ことを特徴とする磁気ディスク装置。

【請求項3】

請求項1に記載の磁気ディスク装置において、

前記シュラウドは前記キャリッジの移動動作に対応する部分に開口部が設けられ、前記開口部を覆うシュラウド補助部を前記ディスクの円周方向に沿うように形成して前記シュラウドに取り付け、

前記シュラウド補助部は、前記キャリッジが挿入され移動動作できる隙間を有する櫛歯形状である

ことを特徴とする磁気ディスク装置。

【請求項 4】

積層された複数枚の記録媒体と、
これら記録媒体を回転させるスピンドルと、
前記記録媒体の外周に位置するシュラウドとを備え、
このシュラウドの内縁が前記記録媒体同士の隙間に挿入される磁気ディスク装置。

【請求項 5】

前記記録媒体同士の隙間に挿入される前記シュラウドの内縁は、前記スピンドルと同心の円弧を形成する請求項 4 記載の磁気ディスク装置。

【請求項 6】

積層された複数枚の記録媒体と、
これら記録媒体を回転させるスピンドルと、
前記記録媒体の外周に設けられたシュラウドとを備え、
このシュラウドは、前記記録媒体同士の隙間に挿入される凸部を有する磁気ディスク装置。

【請求項 7】

前記凸部の内縁が形成する周面は、前記スピンドルと同心の円弧である請求項 4 記載の磁気ディスク装置。

【請求項 8】

前記シュラウドは開口部を有し、この開口部に前記記録媒体上でヘッドを移動させるキャリッジを備えた請求項 4 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の磁気ディスク装置。

【請求項 9】

前記シュラウドは、前記開口部を覆う部品を有する請求項 8 記載の磁気ディスク装置。